

かんじやと医療

第72号

(毎月1回)
(1日発行)

発行所

全国患者団体連絡協議会

東京都新宿区下落合3-15-29
〒161 田沼ビル 全腎協内
電話 03(952)5340

郵便振替東京7-36736

購読料 1部110円 6カ月分660円

全難連と大蔵省要請

「行革」「老人」で全患連は各党要請

全患連は十一月十三日、昭和五十七年度予算編成作業がすむ大蔵省と、行革関連法案、老人保健法案の審議が大詰を迎え、大蔵省に対して要請行動を行いました。

全患連代表は、筋無力症・パーキンソン病・筋無力症・パーキンソン病から七人、あわせて十四人が参加しました。

代表たちは、大蔵省内の広くて立派な応接室で、藤井裕久大蔵政務次官と面会。古川事務局次長の司会で、まず小林事務局長と岩下全難連代表委員が両団体を代表して、「行革関連一括法案反対」「老人医療無料化制度の継続・充実」「高額療養費自己負担限度額の引き上げ反対」「公費医療制度の継続・充実」などを要請し、各団体代表も個別要求を要請しました。



藤井大蔵政務次官(右端)に要請する全患連・全難連代表

これらの要請に藤井政務次官は「行政改革は本当に必要なところを手厚くするために無駄を削ること」としながらも、「老人医療は有料化は必要」とし、要望に対しては「つきりした回答はありませんでした。」

この後、全患連代表は互療会代表も加えて、参議院各党に行革関連一括法案、老人保健法案に反対するようこの申し入れ書を提出しました。

おもな記事

- 高齢化社会と成人病④ 厚生省技官 土居 眞 2
- 全患連第七回大会ひらく 運動の交流広場 全腎協・全患協・心臓病 3
- 今の焦点と役立つもの 日本推進協 行動計画決める 7
- 読者のたより 沖繩愛楽園と不発弾と 8

厚生白書

正式には「厚生行政年次報告書」といい、昭和三十一年以来毎年一回報告されています。昭和四十六年版の白書巻頭では「厚生白書は、国民の健康を守り福祉の向上をめざす厚生行政の一年間の歩みを広く国民各層のかたがたにお知らせするため」としていますが、最近では「国民の健康を守り福祉の向上をめざす」が割愛されており、ここでも厚生行政の後退が明らかになっています。例年、その時々々のテーマにそった副題をつけ、それを中心とした総論と各施策の各論からなっています。ことしは「国際障害者年」ですが、昨年は「高齢化社会」がテーマになっていました。

ひとくち辞典

高齢化社会と成人病 ④

厚生省公衆衛生局結核成人病課

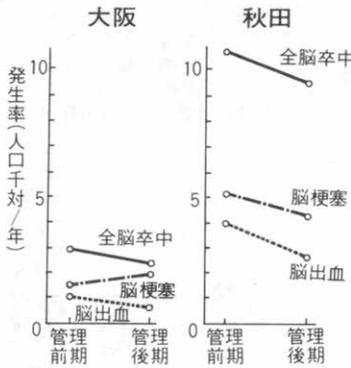
菅 土 居 眞

脳卒中の予防

脳卒中を減少させるための四つの基本的な事項についてふれましたが、もう少し具体的に述べてみたいと思えます。

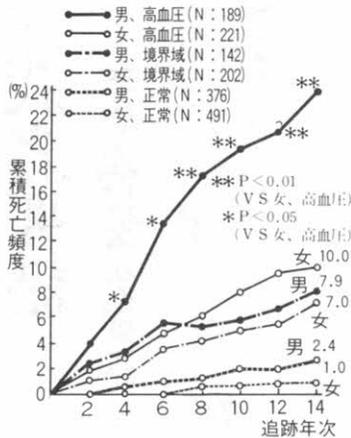
△脳卒中は予防できる▽
 脳卒中は一度発病すれば一

脳卒中発生率の推移 (男子40~69歳)



宮尾編「生活と血圧—医療と保健活動の指標」(医歯薬出版)の中の小町の高血压の疫学と予防対策から引用

性別、血圧群別脳卒中累積死亡頻度 久山町、追跡対象者、14年間



①生活のリズムは不規則である
 ②ストレスを発散させていない
 ③気分転換を図るようなことはしていない
 ④職場での人間関係は悪い
 ⑤人生に生きがいを持っていない
 ⑥健全な趣味は全然持っていない
 ⑦勝負事に凝っている
 ⑧家族でくつろぐようにしていない
 ⑨家族との団らん(この項、次頁に続く)

年以内に約六割の人が死亡します。また、九死に一生を得ても、言葉や身体の不自由な日常生活に支障をきたす人も相当数います。この事を考えれば、やはり、脳卒中にならないように予防対策を充実させていくことが必要になります。では、脳卒中は予防できるのかということになります。

すが、ここではある地域でのとりくみを紹介します。これらの地域では住民が保健婦、栄養士や医師など専門家のチームと一緒に、食生活の改善や高血圧などの病気の早期発見・早期治療にとりくんでいます。とりくみ前後で比較すると死亡率では約50パーセントもさがっており、発生率にも同様の傾向がみられます。また、発生する年数も遅らせるようになったと報告されています。

患者を一人一人切りはなしでみると判断に困るのですがこのように地域全体、あるいは職場など集団的にみると効果がよくわかります。

塩分は、なかでも高血圧との非常に関係があり、摂取量が多くなる程血圧が高くなること

△生活のチェックをしてみよう▽
 脳卒中の予防には生活すべてのみなおしが大事です。次のチェック表をみて、もう一度考えなおしてみよう。

①一日の生活で6キロメートルも歩かない
 ②食事抜き
 ③甘いものや塩辛いものを食べ過ぎる
 ④野菜を食べることは少ない
 ⑤食事を楽しく食べようとしない
 ⑥食べ過ぎの傾向がある
 ⑦飲んだあと、なにか食べないと気がすまない
 ⑧アルコールは日本酒換算毎日二合以上飲む
 ⑨しばしば二日酔いするほど飲む
 ⑩タバコを一日十五本以上扱う
 ⑪歩きながら、動きながらタバコを吸う

△脳卒中にならないために▽
 その大きな要因である高血圧にならないこと、高血圧の場合には適切な治療を受けることです。高血圧と脳卒中の関係は明らかで、血圧の高いものは危険性は高いのです。高血圧の約九割は、本態性高血圧と呼ばれ、腎臓など原因となる病気がはっきりしません。遺伝、塩分の過剰摂取など、遺伝、塩分の過剰摂取など、要因がからみあっていると考

とがわかってきます。そして、これらに蛋白質や脂肪など他の栄養状態が悪いとさらに、脳卒中をおこしやすくなります。コレステロールは血圧にわるいといわれた時代がありますが、疫学あるいは病理学的に、むしろ、脳卒中の予防効果があることがわかりました。

従って、脳卒中の予防には、塩分をひかえめにバランスのとれた食事が大切になります。

出かけることはほとんどない
 ⑫自然に接してリラックする機会はない
 ⑬しばしば夜ふかしする
 ⑭毎日平均して7時間は寝ていない
 ⑮寝る前に考え事など神経を使い過ぎる
 ⑯冬でも薄着のままトイレに行く
 ⑰一日に一回も体操しない
 ⑱エレベーターや乗物を利用する
 ⑲一日の生活で6キロメートルも歩かない
 ⑳食事抜き
 ㉑甘いものや塩辛いものを食べ過ぎる
 ㉒野菜を食べることは少ない
 ㉓食事を楽しく食べようとしない
 ㉔食べ過ぎの傾向がある
 ㉕飲んだあと、なにか食べないと気がすまない
 ㉖アルコールは日本酒換算毎日二合以上飲む
 ㉗しばしば二日酔いするほど飲む
 ㉘タバコを一日十五本以上扱う
 ㉙歩きながら、動きながらタバコを吸う

(この項、次頁に続く)

全患連第7回定期大会ひらく

医療・福祉の拡充めざし



医療・福祉切り捨てに危機感をもって開かれた第7回大会

戦前への後戻り許すな

患者・障害者いじめの「行革」に反対し、医療・福祉の充実をめざすとともに、平和と民主主義を守ろう、と全患連は、十一月三日、東京で第七回大会をひらきました。大会には役員や代議員六十五人が参加しました。国民犠牲の臨調路線がおしすすめられている情勢のなか、臨時国会では「行革関連一括法案」が衆議院で可決された直後だけに大会は、かつてない熱気と課題で、八二年度運動方針など全議案を採択しました。このあと新役員を選出し、スローガンと大会宣言を採択、決意新たに大会を終りました。

大会は午前十二時から午後三時から青木四氏を迎えて、会議をすませました。新宿農協会館でひらかれました。会場を満員にした参加者は、全難連・青木代表幹事 宣言し、議長団に藤田恵一氏(全

交災)・山田義信氏(全患協)を選び議事に入りました。

上田代表幹事(全腎協)はあ

は、やがて一年になるとうしている。行政改革への国民の期待は、臨時行政調査会の一次答申と、その実施を決定した政府によつて裏切られた」と述べ次のように強調しました。

「福祉を『救済』だとする戦前の考え方を、政府は生き返らせようとしている。これは、憲法をふみにじるもの。軍備拡大の臨調路線は、人間性を無視したものだ。戦争中『非国民』だといわれ、にがしい体験をもつ患者・障害者が先頭に立ち、真に民主的な行政改革を望むすべての人たち、団体と力を合わせ闘いを前進させよう」とあいさつ

の言葉を結びました。

来賓の全難連青木代表委員、全日本民医連若宮事務局長、日本医療社会事業協会山手茂氏、日本共産党・吉川春子社会福祉対策委員長ら四氏から激励のあいさつ。また、多数の祝電が大会に寄せられました。

このあと議事に入り、一九八一年度活動報告を小林事務局長が、同会計報告を梅本財政部長が、また会計監査報告を村瀬会計監査委員がそれぞれ報告し、若干の質問を受けたあとこれらの報告を承認しました。

老人・行革で

国会要請急げ

午後からは、古川事務局長が一九八二年度運動方針を提案し、その審議を行いました。古川事務局長は、方針案決定後の国会情勢などにも詳しくふれながら、患者・障害者いじめの臨調路線を厳しく批判し、全患連加盟団体、全国の患者運動の団結が急務であると報告しました。

この方針案について、「国立療養所での患者の処遇は、医療費が一日百八十二円に抑えられ、という人間並みの扱いになつていない。福祉切り捨ての臨調

答申には怒りをもって立ち向う必要がある。ハンセン氏病患者は高齢化がすすみ、合併症の患者も増えてその対策拡充は緊急の課題となっている。方針にその状況を盛り込んでほしい(全患協)、「『障全協』と全患連の関係はどうなっているか。また国際障害者年のテーマの『全面参加』と『完全参加』はどちらが正しいのか(全交災)、「老人保健法案は最大の山場を迎えており、行革法案も無修正で衆院を通過する状況であり、全患連として国会対策を重視する必要がある(日患)、「互療会には人工肛門の患者だけでなく人工ぼうこうの患者もあり、合併症で苦しんでいる。この現状も方針に反映させてほしい(互療会)、「厚生省は障害年金の改正について展望をもっていない。厚生年金の事後重症制度の期限も根拠がない。もつとつめていく必要がある(日患)などの意見が出されました。これらの意見も含めて方針案は採択され、予算案、新年度役員、スローガン、大会宣言もそれぞれ決定されて大会を終りました。(決定した方針・資料等は70号及び次頁参照)

一九八二年度役員

代表幹事

上田 昭

全国腎臓病患者連絡協議会

事務局次長

梅崎 園子

全国心臓病の子供を守る会

障害患者協議会

辻川 寿之

全国交通労働災害対策協議会

堀内富士男

全国職業性有害物
障害患者協議会

同 全国交通労働災害対策協議会

中野 佳子

同

古川 圭助

同 全国職業性有害物
障害患者協議会

山田 義信

同 全国ハンセン氏病患者協議会

代表幹事

長 宏

日本患者同盟

財政部長

落合 希子

同 全国心臓病の子供を守る会

米村 正國

同 全国ハンセン氏病患者協議会

幹事

岡本 洋

同 全国ハンセン氏病患者協議会

新城栄次郎

同 全国ハンセン氏病患者協議会

会計監査委員

互 療 会

事務局長

小林 孟史

全国腎臓病患者連絡協議会

末永 稔雄

全国職業性有害物

山田 誠

全国腎臓病患者連絡協議会

【采賈】吉川春子(日本共産
党中央委員会社会福祉対策委員
長)、山手茂(日本医療社会事
業協会常任理事・制度化研究委
員会責任者)、若宮昇次(全日
本民主医療機関連合会事務局

長、青木正行(全国難病団体
連絡協議会事務局長)

【祝電・メッセージ】公明党国
民運動本部、障害者の生活と権
利を守る全国連絡協議会、北海
道難病団体連絡協議会、新日本

医師協会、衆議院議員・岩佐恵
美、同・浦井洋、同・小沢和秋、
同・寺前巖、同・不破哲三、同・
村上弘、同・山原健二郎、参議院
議員・踏脱タケ子、同・下田京子

【芳志】生協医療部会一百万

1981年度 会計収支報告書

自 1980. 10. 1
至 1981. 9. 30

	科 目	81 年 度 予 算	決 算	備 考
収 入	分 担 金	1,238,520	1,246,050	
	機 関 誌 購 読 料 金	1,410,690	1,155,990	
	募 集 金 ・ 寄 付 金	200,000	23,860	4 件
	資 料 取 入	50,000	54,160	書籍販売、広告料
	雑 収	20,480	13,883	受取利息ほか
	小 計	2,919,690	2,493,943	予算比85.4%
支 出	小 前 期 繰 越	0	0	
	合 計	2,919,690	2,493,943	
	大 会 諸 会 議 費	86,000	29,450	6 回大会、学習会
	機 関 誌 印 刷 費	1,878,805	1,549,479	54号~67号
	印 刷 費	65,000	34,088	資料印刷、コピー
	通 信 局 送 費	49,830	78,195	電話、切手
	事 務 局 諸 費	42,000	18,017	事務用品
	役 員 交 通 費	246,800	169,811	幹事会、事務局会議
	人 件 費	33,000	39,600	@ 450×88 h
	雑 費	10,000	6,910	
小 計	2,411,435	1,925,550	予算比79.9%	
出	予 備 費	98,690	27,200	I Y D P J C 年金分担金
	借 入 金 返 済 費	409,565	409,565	患者白書会計ほか
	合 計	2,919,690	2,493,943	

運動の 交流広場

このキャンペーンは、島根、神奈川を除く四十五都道府県で、市民に呼びかけようと、初の全国いっせいキャンペーンとなったものです。



「腎臓バンク登録にご協力ください」と全国151カ所で行われた全腎協の街頭キャンペーン(11月8日=東京・新宿)

協 腎 全 「腎臓提供にご協力を」 全国151カ所で街頭キャンペーン

全国腎臓病患者連絡協議会(全腎協)では十一月八日、全国の主要都市百五十一カ所で腎臓移植のための腎臓提供登録を呼びかける街頭キャンペーンをいっせいに実施しました。

この街頭キャンペーンは、腎協などの運動により腎臓移植をめぐる医学的、法的、社会的対策が大きく前進したものの、死体腎臓移植普及のための腎臓提供者が少ないことから、患者が市民に呼びかけようと、初の全国いっせいキャンペーンとなったものです。

このキャンペーンは、島根、神奈川を除く四十五都道府県で、三千四百人余の会員、家族、医療関係者が参加して行われまし

シをまいて訴えました。仙台では県知事もこの行動に

参加し、京都では集会、デモもなされた。この日はあいに全国的な寒波の到来で、北海道、東北、関東などでは雪も降る悪条件でしたが、各地の会員はゼッケン、タスキをかけ、横断幕をたて、道行く人々に「腎臓提供

10年来の悲願・長島架橋

「約束を果たせ」

全患協が厚生省交渉

「あれから一年、長島架橋着工の約束を果たせ」と全国ハン

セン氏病患者協議会の小泉会長ほか長島・邑久(おく)両支部の代表十五人は、十月二十九日厚生省に強く要請しました。

現地の長島支部では同日、秋雨のなか、三百五十人が総決起大会。プラカードや横断幕に十年の悲願をかかげて、五十六年度着工約束の履行をせよと申しました。(注)岡山県

愛生園・邑久光明園の入所者千六百人を中心に、全患協が運動を厚生省に打電するなど、中央厚生省・医務局整備課は「地方公共事業で橋をかける方針は変えない。地元・邑久町の負担金を国が肩替わりするのは法律

上、困難だ」と回答。強制隔離を必要としなくなった証しとして56年度には架橋を実施、という昨年十月の厚生大臣確約後、問題点の処理が進んでいないことを示しました。(注)岡山県

久久町と長島の間(海上の最短距離三十キロ)に「橋」を、長島

福祉・教育の充実を

心臓病の子供を守る会19回総会

全国心臓病の子供を守る会の第十九回全国総会が、十一月一日(日)午前九時半から午後四時まで、神戸市の勤労会館で開催されました。

午後、医療、教育、生活、福祉の四つを柱に六つの分科会に分かれ、循環器小児科医、心臓外科医、教師など専門家を助言者として、熱心な話し合いが

この総会には、「ふれあい・相談・学習」のサブタイトルがつけられ、兵庫県、神戸市など十一の地方自治体の後援を得て開かれましたが、出席者は札幌から沖縄までの全国各地からの

会員と地元兵庫県の会員をあわせて、五百名にのぼりました。午前中の全体会では、心臓病の子供を代表して二人の病児が「手術の傷跡は生きている証拠としてがんばりたい」「将来の仕事のことが心配だが、希望をもって生きたい」と訴え、感動を呼びました。また日本心臓財団から「先天性心臓病発生原因研究プロジェクト助成金」とし

て五十万円の贈呈があり、この助成金をもとに、国際障害者年と守る会結成二十年記念事業として取り組むことが決まりました。全体会の最後には、「福祉

障害者対策の具体的展望示さず

昭和56年度「厚生白書」を閣議了承

村山厚生大臣は十月二十四日の閣議に昭和五十六年度厚生白書(昭和五十五年厚生行政年次報告書)を報告、了承された。この厚生白書は「国際障害者年」完全参加と平等をめざして」との副題で、厚生白書二十五回の報告の中ではじめて障害者福祉の問題を中心テーマにしています。

この報告の総論は「序章・国際障害者年にあたって」「第一の、将来像は抽象的」(朝日)、章・障害者の現状」「第二章・障害者対策の歩み」「第三章・障害者対策の現状と課題」「第四・今後における障害者対策には極めて乏しい内容(読者の方向)の各章からなっています。この報告は「現行政策に条件整備の展望を少しも示して

いない」(毎日)などと厳しく指摘されているように、「完全参加と平等をめざして」という副題にそぐわない、障害者の要求実現に目をそむけたものとなっています。

総論の「今後における障害者対策の方向」の中では、障害者の高齢化、障害の重度化、複雑化の傾向は今後も続き、障害者の要求や意識も強まっているとして、障害者の自立促進という目標にむけて各種施策の総合性、一貫性を確保すること、ライフ・サイクルに応じた施策を確立する等を述べています。

政府はこの法律にもつき約二千四百億円の予算削減をめざしていますが、この他に法改正をしながらも実施できる年金の物価スライド時期の約半年繰り延べなどが、来年度予算には盛り込まれています。

一方、老人保健法案は継続審議とされましたが、これに先立つ十一月十二日の衆院社労委、十三日の同本会議の可決にあたって、自・公・民三党共同提案により、一部負担金の外来時負担月額五百円を四百円に、入院時負担徴収期間四カ月を二カ月などの修正が行われました。

行動計画決める

国際障害者年日本推進協議会

全患連をはじめ百十団体以上が加盟している国際障害者年日本推進協議会は、十一月七日、東京・目黒区の「こまばエミナス」で第五回協議員総会を開き、長期行動計画の最終案などを協議しました。

この協議員総会は、六月二十七日の第四回総会でまとめられた行動計画・中間提言について、その後の各団体内の討議と九月末から十月はじめてかけて開かれた課題別研究小委員会での意見などにもとづいてまとめられた最終報告案を決定するために開かれたもので、協議員八十二人が出席しました。

総会では、太宰博邦代表のあいさつに続いて飯田進調査研究委員長が、行動計画の最終案策定にいたる経過と総論部分を中心に提案説明を行いました。

この提案に対して各協議員から意見が出されましたが、原案に反対する強い意見はなく、いづつかの要望、補強意見が出された後、これを了承しました。

この行動計画は、十一月二十八日、二十九日に開かれる国民会議で報告され、翌三十日には推進協議員代表らによって政府に提出されることになっています。行動計画の総論部分要旨は本誌前号でお知らせしましたが、その他、「所得保障」「就業」「生活環境整備」「医療」「教育」「心身障害の早期療育(予防・早期発見)」の各論からなっています。

今の焦点は 役立ちの

第九十五臨時国会は十一月二十八日に閉会しましたが、全患連をはじめ患者団体、福祉関係団体などから強い反対があった行革関連一括法は成立し、同じく多くの国民の反対が強かった老人保健法案は次の通常国会に継続審議となりました。

この臨時国会で成立した「行政改革を推進するため当面講ずべき措置の一環としての国の補助金等の縮減その他の臨時の特例措置に関する法律」(行革臨時特例法)は、去る七月の第二次臨時行政調査会の第一次答申を受けて、昭和五十七年度から五十九年度までの三年間の財政「行革」の第一弾として出されたものです。

老人保健法案は継続審議に

95臨時国会

国民の反対押し切り「行革法」は成立

この行動計画は、十一月二十八日、二十九日に開かれる国民会議で報告され、翌三十日には推進協議員代表らによって政府に提出されることになっています。



沖繩愛楽園と不発弾と

多磨全生園 岡本 洋

十一月上旬、私は沖繩愛楽園(国立ハンセン氏病療養所)を訪れた。

哀しいほど青く美しい海を距てて、屋我地(やがじ)島がある。ハンセン氏病患者でキリスト教伝道者の青木恵哉氏によつて、愛楽園は、昭和十三年、この島の一角に創設された。今は小さな岩礁を間に狭んで、二本の橋が沖繩本島にのびているので、屋我地は、もう「島」ではない。ここに、七百人の病友が

療養し、生活している。戦時中、病棟も治療棟も共同炊事も焼かれた。八百キの大爆弾が十四カ所爆発した。不発弾が、いまも地下にめりこんでいる、という。

私が行った日、不発弾の探知と56年度建物整備について、患者自治会は討議していた。建物未改修の療舎が、まだ百四十床分残っている。新しく拓いた道が、土埃りをあげている。道路や崖に面して、戦時中の

防空壕が十数カ所、当時の姿で残っている。この中で毎日のように、病友が死んでいった。

夜九時以降は断水がつづいて、雨ラシイ雨ハ、モウ何カ月毛降ッテクレマセン。

米軍基地では、ヤンバル(山原・沖繩本島北部)のタムの水をぜいたくに使っている。「アイツラガ居ル限り、水毛自由二使エナイ」とMさん。

「戦後三十六年というけれど沖繩の戦争は、まだ終わっていない。米軍も自衛隊も安保条約も出ていっておくれ」と言いさるSさんにも会った。

愛楽園の視力障害者数は、昭和48年の年報では二十六人。今は、盲人会会員数四十五人。この増加は、何故なのか。盲人の平均年齢は六十五歳。寝たきり老人も増えた。政府は国際障害者年をこのまま終らせるのか。

医療改善の要求を戦争への憎しみに重ね、病友たちは「二七行革」に怒りを燃やしている。

全国患者団体連絡協議会加盟組織

〈互療会〉

〒105 港区新橋5-14-12 大幸ビル2階
☎03(432)3514

〈全国交通労働災害対策協議会〉

〒171 豊島区西池袋1-4-5
☎03(982)7361

〈全国腎臓病患者連絡協議会〉

〒161 新宿区下落合3-15-29 田沼ビル(第二)
☎03(952)5340

〈全国心臓病の子供を守る会〉

〒101 千代田区神田北乗物町17 北乗ビル
☎03(256)8424

〈全国ハンセン氏病患者協議会〉

〒189 東村山市青葉町4-1-10
☎0423(94)1571

〈全国職業性有害物障害患者協議会〉

〒105 港区西新橋2-21-5
☎03(433)2082

〈日本患者同盟〉

〒180-04 清瀬市松山2-13-12
☎0424(91)0058

〈慢性一酸化炭素中毒患者会〉

〒151 渋谷区千駄ヶ谷1-31-5 代々木病院内
☎0493(24)1293 後藤気付

長期慢性患者・難病患者の闘病にも希望が
医学界の権威者がつづる療養小史

病気と人間—その30年

—砂原茂一・島村喜久治著—

主な内容 砂原茂一
戦後混乱の中で
信頼の再建
真実のむつかしさ

島村喜久治
花ひらく未来を
安静時間をなくしたら

定価1,600円
送料260円

B6版 上製 293頁 **日本患者同盟編**

お申し込みは
東京都清瀬市松山二一三三十一十二
日本患者同盟総務部(郵便番号一八〇一〇四)へ
送料をそえてお申込みください(切手でもよい)